

税の作文で金田さんが 東京国税局長賞を受賞

全国納税貯蓄組合連合会並びに国税庁が主催した中学生の「税についての作文」。本町から作品を応募した神崎中学校3年の金田友希さんが、見事東京国税局長賞を受賞しました。また、高橋沙弥佳さんの作品が佐原税務所管内納税貯蓄組合連合会佳作に入賞しました。

佐原関税会が主催した税の標語では、神崎中2年生の椿優奈さんが優秀賞、郡大毅さんが佳作に入賞しました。
東京国税局長賞を受賞した金田さんの作文を紹介します。

豊かな暮らしのために

神崎中学校3年

金田友希さん



「なんで消費税を払うの？消費税がなければもっと物が安く買えるのに」「私は消費税がなければいいな」といつも思っていました。もうすぐ衆議院の選挙がありま

国民が安全で豊かな暮らしが保障されるのであれば、私もスウェーデンの消費税率には賛成です。

今までいやいやながら消費税を払っていた自分がとても恥ずかしくなりました。税金に関して知識も関心もはつきり言っておりませんでした。まず税金がどのように使われるのか正しい知識で理解するよい機会となりました。

日本の収入の約五割が税収で、あとの四割は公債（国の借金）に頼っています。税収の上位三つが所得税・法人税・消費税の順になります。そして国の支出で一番多く使われているのが社会保障関係費です。これには、医療・年金・福祉・介護・生活保護があります。これからの費用は私達の未来の生活に大きくかかわってくるものです。

現在、少子高齢化が進んでいますが、これからはますます社会保障の費用が増え、それを負担する働き手の減少が懸念されます。その他身近な税金の使われ方には、私達が最もお世話になっている学校での教育費があります。また、生活や町の安全は警察や消防が守っ

てくれます。市町村のゴミ処理により美しい環境が保たれます。さらに医療費も税金で賄われています。日本は外国に比べると医療が安く受けられます。保険証を提示すれば保険によって七割の補助があり、患者の負担が少なくなりま

す。また、有難いことに海外では救急車も有料ですが日本は無料です。こうして生活全般が税金によって支えられていることを改めて知り、あたり前に思っていたことが実は税金のおかげだったことに感謝をしたいと思います。

私の生活は色々な方々の納税した税金で支えられていることを忘れずに勉強に励んでいきたいと思っています。私は、税金は私達が幸せに暮らしていくための大切な貯金だと思っています。税金は一度自分の手から離れていきませんが、様々な所を巡りまた必ず戻ってきます。あと数年後、私も納税者となります。国を支えていく私達は、税の使い道だけでなく社会にも関心を持つ事が大切です。国民の豊かな暮らしのためにきちんと納税できる大人に近づけるようこれから努力していきたいです。